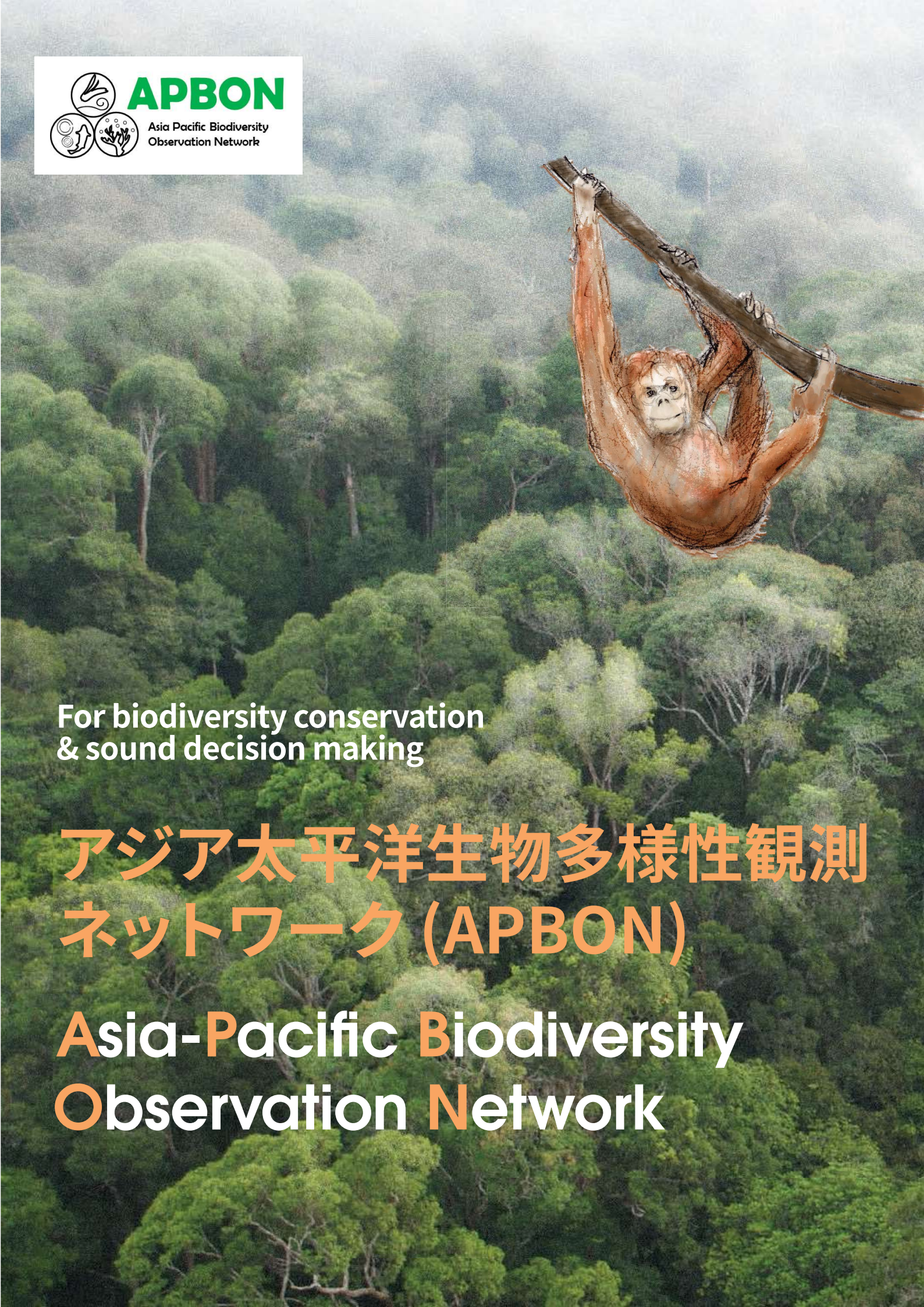


APBON
Asia Pacific Biodiversity Observation Network

For biodiversity conservation
& sound decision making

# アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク (APBON)

# Asia-Pacific Biodiversity Observation Network

## アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク

アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク(APBON)はアジア太平洋地域内で、得られた知見・知識のリソースを共有・活用し、生物多様性保全の政策の意思決定に貢献する事を目的とした研究機関や研究者のネットワークです。APBONは地球観測に関する政府間会合の生物多様性観測ネットワーク（GEO BON）の設立（2008年）に伴い、2009年に開始されました。また、アジア・オセアニア地球観測に関する政府間会合（AOGEO）と連携しながら活動を行っています。

アジア太平洋海洋生物多様性観測ネットワーク(AP-MBON)は、アジア太平洋地域の海洋生物多様性に関する調査研究の発展を目的として、GEO BONのネットワークであるAPBONとMBONのサブグループとして設立されました。

APBONではリモートセンシング、生態学的プロセスの調査研究、種及び遺伝子レベルの調査研究といった3つのレベルでの観測を行い、それらのデータを共有化し、生物多様性保全に関する政策決定に役立ててることを目指しています。

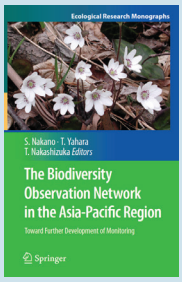
## APBONは、以下の3つの柱を基盤として活動を展開しています

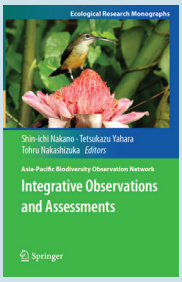
①生物多様性の研究と監視、アセスメント
- 生物多様性や生態系機能の状態と変化の監視
- 観測や知見の空白域の解消
  （現地調査支援、UAVや衛星観測の活用、AIなどの先進技術の応用など）
- データや知見情報基盤へのアクセスの改善(GBIF等)
- アセスメント(IPBES、KM-GBF)、SDGs達成への貢献

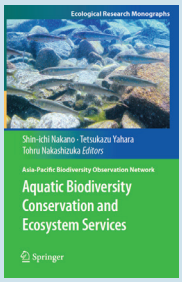
②連携の推進、ネットワーク構築の支援
- National BONの発足
- 生物多様性と生態系研究ネットワークの連携
- 科学ー政策の連携、科学ー社会の連携

③能力養成、普及
- 学生、若手研究者、データ・知見ユーザーの教育
- 現地コミュニティへの普及

### APBON 出版物

1



2



3



4

**書籍**

1. APBONブック第1巻 (2012年)「The Biodiversity Observation Network in the Asia-Pacific Region: Toward Further Development of Monitoring. S. Nakano, T. Yahara, T. Nakashizuka (eds.), Springer」
2. APBONブック第2巻 (2014年)「Asia-Pacific Biodiversity Observation Network: Integrative Observations and A ssessments. S. Nakano, T. Yahara, T. Nakashizuka (eds.), Springer」
3. APBONブック第3巻 (2016年)「Asia-Pacific Biodiversity Observation Network: Aquatic Biodiversity Conservation and Ecosystem Services. S. Nakano, T. Yahara, T. Nakashizuka (eds.), Springer」

**論文**

4. The Asia-Pacific Biodiversity Observation Network: 10-year achievements and new strategies to 2030. Takeuchi et al. (2021). Ecological Research 36: 232-257. https://doi.org/10.1111/1440-1703.12212

## 2030年への新戦略

**生物多様性に関する調査研究、モニタリング**

**ネットワークとコミュニティの連結強化**

**キャパシティビルディング**

APBONは多岐にわたる学術的なアプローチにより、地域的・世界的スケールでの連携強化を目指しています。

2009

2019
2020

CBD COP15

2030

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### ミッション

- 研究者及び組織間の連携強化
- 共同プロジェクト及び情報共有の促進
- 生物多様性保全に関する政策立案者への科学的知見の 提供

### 成果

- IPBES の地域評価への貢献
- データ共有
- 国・地域別BONsの会合及びプロジェクトでの取り組み

### 新たなミッション

- 学際的調査研究及び知見ギャップ等の課題解決の促進
- 観測ネットワークを通じたデータ共有及び情報アクセシビリティの促進
- ステークホルダー及び世界的プラットフォームへの情報提供

### 主要活動

- 生物多様性に関する調査研究とモニタリング：国別BONsの促進、最先端技術を用いた調査手法の改善
- ネットワーク間交流：科学と政策関連分野の連携
- キャパシティビルディング：学生及びNGO職員への調査手法のワークショップ研修修

( Takeuchi et al. 2021 )

## APBON 活動成果概要

### ■APBON ハイライト

### ■APBON ワークショップ概要

APBONでは共同研究，データ解析，キャパシティビルディングのために，独自のワークショップやウェブセミナーを開催しています。開催案内についてはAPBONウェブサイトを御覧ください。

## APBONの経緯

| | |
|---|---|
| 2008年 4月 | GEO BON 設立会議/ドイツ、ポツダム |
| 2010年 2月 | GEO BON 実施計画会議/アメリカ、カリフォルニア |
| 3月 | 第4回GEOSS-APシンポジウム/インドネシア、バリ |
| 10月 | APBON サイドイベント（COP10）/名古屋 |
| 2012年 4月 | 第5回GEOSS-APシンポジウム/東京 |
| 9月 | APBONサイドイベント（第5回世界自然保護会議）/韓国、済州島 |
| 10月 | APBONサイドイベント（COP11）/インド、ハイデラバード |
| 2013年 2月 | 第6回GEOSS-APシンポジウム/インド、アフマダーバード |
| 2014年 5月 | 第7回GEOSS-APシンポジウム/東京 |
| 10月 | APBONサイドイベント(COP12)/韓国、平晶 |
| 2015年 9月 | 第8回GEOSS-APシンポジウム/中国、北京 |
| 2017年 1月 | 第9回GEOSS-APシンポジウム/東京 |
| 9月 | 第10回GEOSS-APシンポジウム/ベトナム、ハノイ |
| 2018年 10月 | 第11回AOGEOシンポジウム/京都 |
| 2019年 11月 | 第12回AOGEOシンポジウム/オーストラリア、キャンベラ |
| 2021年 3月 | 第13回AOGEOシンポジウム/オンライン開催 |
| 11月 | 第14回AOGEOシンポジウム/オンライン開催 |
| 2022年 9月 | 第15回AOGEOシンポジウム/ハイブリッド開催 |

*2020年度からAPBONウェブセミナーを開催しています。詳細はAPBONウェブサイトをご覧ください。

| | |
|---|---|
| 2009年 7月 | 第1回APBON ワークショップ/名古屋 |
| 12月 | 第2回APBON ワークショップ/東京 |
| 2010年 3月 | 第3回APBON ワークショップ/名古屋 |
| 10月 | 第1回APBON運営委員会/名古屋 |
| 2011年 12月 | 第4回APBONワークショップ、APBON 国際シンポジウム/東京 |
| 2012年 9月 | 第2回運営委員会/韓国、済州島 |
| 2013年 11月 | 第5回APBONワークショップ/フィリピン、ロスバニョス |
| 2014年 10月 | 第6回APBONワークショップ/韓国、仁川 |
| 2016年 2月 | 第7回APBONワークショップ/タイ、バンコク |
| 9月 | 第8回APBONワークショップ/台湾、台北市 |
| 2018年 2月 | 第9回APBONワークショップ/タイ、バンコク |
| 7月 | 第10回APBONワークショップ/マレーシア、クチン |
| 2019年 1月 | 第11回APBONワークショップ/マレーシア、クアラルンプール |
| 2021年 1月 | 第12回APBONワークショップ/オンライン開催 |
| 10月 | 第13回APBONワークショップ/オンライン開催 |
| 2023年 2月 | 第14回APBONワークショップ/福岡 |
| 2024年 2月 | 第15回APBONワークショップ/東京 |
| 9月 | 第16回AOGEOシンポジウム/東京 |
| 2025年 1月 | 第16回APBONワークショップ/フィリピン・ロスバニョス |

## APBON

### 執行委員会

**共同議長**
- 村岡裕由（岐阜大学、国立環境研究所）
- ヨンギュット・トリスラット（タイ・カセサート大学）
- ルニ・シルベスター・プンガ（マレーシア・サラワク州森林局）

**委員会メンバー**
ASEAN、インドネシア、カンボジア、中国、ネパールより13名

### 事務局

環境省 自然環境局 生物多様性センター Biodiversity Center of Japan

### ワーキンググループ

陸域 | 海域 | 陸水域

AP MBON | 事務局 JAMSTEC

### 共同ネットワークと機関

JBON 日本生物多様性観測ネットワーク Japan Biodiversity Observation Network
National Institute for Environmental Studies, Japan
KBON Korea Biodiversity Observation Network
Ministry of Environment National Institute of Biological Resources
SinoBON Chinese Academy of Sciences
ChinaBON Nanjing Institute of Environmental Sciences, China
ASEAN CENTRE FOR BIODIVERSITY
NepalBON

### 共同パートナー

AOGEO
GEO BON
ILTER-EAP
AsiaFlux
KBA
ICIMOD

As of January 2022

**APBONウェブサイト**
http://www.esabii.biodic.go.jp/ap-bon/index.html

**AP-MBONウェブサイト**
https://members.geobon.org/pages/ap-mbon.php

## APBON事務局

環境省自然環境局生物多様性センター
〒403-0005　山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1
E-mail：webmaster@biodic.go.jp | Tel：0555-72-6031 | Fax：0555-72-6035
2025年3月発行